

高分子学会若手研究者交流促進助成報告書

2022 年 11 月 24 日

公益社団法人高分子学会
会長 伊藤 耕三 殿

研究会名称	第15回超分子若手懇談会
主催団体の名称	第15回超分子若手懇談会
開催期間	2022年11月18日(金)、19日(土)
会場	TOKYO BAY MAKUHARI (千葉) and オンライン (ハイブリット開催)
主 題 (主題がある場合は記入)	超分子化学が生み出す Future World
責任者	(フリガナ) 氏 名 アオキ ダイスケ 青木 大輔
	所属機関・職名 千葉大学大学院工学研究院・准教授
参加者数	40名(申請時の予定参加者数 30名)
助成金金額	150,000円

1. 実施事業の目的

助成対象となった第15回超分子若手懇談会では、超分子化学における最新の研究についての議論を通じて、若手教員・学生の知識向上や交流を図ることを目的とした。本会で低分子から高分子まで広い領域を対象とする超分子化学に関する若手研究者が一堂に会することで、当該分野の現状の課題を議論・共有し、新たな研究展開や共同研究が生まれる契機となることを目指した。また、論文では表現できない研究進展における困難・課題を打破するための取り組みを共有することで、参加者の研究発展のヒントやアイデアの想起およびモチベーション向上も目的とした。

2. 実施事業の内容と成果（若手研究者や学生の交流、女性研究者キャリアアップのための取組みの成果）

超分子若手懇談会は例年、合宿形式で開催していたがコロナ流行を考慮して昨年はオンラインで開催した。今年度は例年の合宿形式をベースに、オンラインでの参加も加えたハイブリッド形式として2022年11月18日、19日に実施し、下記の項目を実施した。

1. 超分子化学に関する研究で世界をリードする若手研究者の講演
2. 学生によるポスター発表（現地）
3. 名刺交換会（現地）

講演会は、オンラインツールである ZOOM によってハイブリッド形式行い、現地参加、オンライン参加の垣根を超えた質疑応答が実現できた。全国から多くの超分子化学に関連する研究者（教員8名、学生32名、合計40名）が集い、本会は盛会となった。本会では、超分子化学分野で世界をリードする若手研究者である重光 孟 講師（大阪大学）、澤田 知久 准教授（東工大）、佐野 航季 助教（信州大）、須賀 健雄 准教授（早稲田大学）の4名にご講演いただいた。超分子的な凝集構造が生み出す特異な機能、ペプチド鎖と金属配位によるトポロジー制御、異方性コロイドの超分子的集合構造を利用した機能性ソフトマテリアル、その場形成・反応の視点から見た高分子反応について多岐に渡る講演が行われ、質疑応答も活発に行われた。また、学生による11件のポスター発表（現地）が行われ、研究を介した積極的な交流が行われた。ポスター発表の数は研究を始めて間もない学部学生による発表であり、教員・学生の双方にとって良い刺激となっていた。教員間のみならず学生間、学生・教員間での新たな交流も生まれ、研究の和が広がった。改めて数値には現れない現地開催の意義を感じることができた。本会で生まれた繋がりが、若手研究者の新たな研究展開の想起だけではなく、モチベーション向上など、良い影響を及ぼすことを確信している。

一方、オンラインを用いたポスター発表会や意見交換会も当初予定していたが、申込がなかったためその実施には至らなかった。コロナの感染状況を鑑みるとなかなか申込数を予測することが難しく今後の課題となった。

以上、高分子学会若手研究者交流助成によって本会を成功裏に終えることができ、主催者として感謝申し上げます。助成金は、会場費、講師の旅費に有効に使用させていただきました。